

平成26年5月19日

## 《ひぐちん通信》5月号 (vol.2)

日口鋼管株式会社

代表取締役 樋口浩邦

拝啓 新緑の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年から経営者が集まる勉強会に参加することになりまして、毎月通っております。講義の内容は、政治経済の話から経営者としての心構えなど様々ですが、その中から私の印象に残った内容を皆様にご紹介したいと思います。面白くなければゴミ箱へポイッ！で結構です（笑）。どうぞよろしくお願いいたします。

敬具

### 金運の流れを呼び込むには

金運は土の性質にあります。土の位置は中央で引力本能有り、あらゆるものを受け容れる懐の深さがあります。懐の深さは器の大きさともいえます。金運の流れを呼び込むには、大きな器が必要です。器を大きくするには、人の話をよく聞く。意見の違う人の話もよく聞くことです。

土は火から生じます。だから金運の流れを呼び込むには、火の性質が必要です。火には伝達本能があり、人に何かを伝える能力のある人、コミュニケーション能力のある人はお金儲けがうまいのです。火は南に位置し、明るく暖かい。南は子供や部下、目下の場所なので、元気で明るい従業員のいる会社は、金運の流れを呼び込みます。

火は食に関することに縁があります。だからお客様と一緒にご飯を食べて人間関係を築くことは商売の鉄則なのです。そういうことにお金をケチらないことです。必要範囲の飲食は必要なのです。また火の性質のひとつに大らかさがあります。失敗をおかした部下を叱ったままではダメで、「おい、分かったか。よし！飯食いに行こう」ぐらいの大らかさが上司には必要です。会社に利益が出るかどうかは、社員（部下）のやる気にかかっているのです。

政治にはお金が必要です。田中角栄の屋敷の門をくぐると、お抱え運転手は一万円のチップがもらえたそうです。だからどの運転手も田中邸に行きたがり、主人が特段用事のない時など、「では田中総理のお屋敷に行きましょう」と言って、田中角栄がいよいよまいがお構いなしに連れていったそうです。だから田中角栄にはいろんな情報が入ったのです。また半返しといって、田中角栄に献金1億円を持って行ったら、その場で5000万円返ってきたそうです。返ってきたお金には当然、領収書はありません。田中角栄は、そういうお金のばらまきが上手かったのです。

以上